

東青地域県民局地域農林水産部
農業普及振興室

〒030-0861

青森市長島二丁目10番3号青森フコク生命ビル6階

TEL 017-734-9961

FAX 017-734-8305

E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

ICTを活用したミニトマト栽培

青森農協ミニトマト部会長の我満智さんは、昨年度「青森県地域貢献型地域経営拠点づくり事業」を活用し、土壌水分と日射量によってかん水・施肥を自動で行うシステムを導入しました。2月にはシステムの開発・実証にも関わっているむつ市の蝦名正雄さんを講師に部会で勉強会を開催し、システムの特徴や課題について部会員で共有しました。

このシステムは、長年の経験に基づいて、手動で設定していたかん水時間や肥料濃度を土壌水分や日射量に連動させてかん水・施肥を自動化するものです。

我満さんの設定内容は、昨年、記録したかん水・施肥の実績に、アメダスの日射量データを加えた資料を参考にしました。

1年目の今年は、一定の生育・収量を確保しましたが、より最適な生育のためには、数年分のデータを蓄積する必要があると、システムも改良の余地がありました。

今後は、蓄積したデータを部会員で共有することで、新規就農者の技術や経験を補い、部会全体の収量と品質の向上及びさらなる省力化により、産地力を強化したいと考えています。

管内では、大玉トマト農家1戸がこのシステムを導入し、来年から日射量と土壌水分に連動したかん水・施肥管理を行う予定です。

また、青森県・全農青森県本部が7月に開催した第2回トマト・ミニトマト現地検討会では、各農協、(地独)青森県産業技術センター、県内普及指導員等にシステムを紹介しました。



自動かん水・施肥システム

水稲育苗ハウスを活用したぶどうのアーチ栽培 ～シャインマスカットの生産～

青森市高田の大規模稲作農家の飯塚久雄さんは水稲育苗ハウスで、『シャインマスカット』の生産に取り組み、今年で植付け3年目になります。

この栽培方法は、遊休期間の長い水稲育苗ハウスを有効活用し、水稲と作業が競合しないぶどうの栽培を行う技術で、既存のハウスを活用するため施設ハウスにかかるコストが安価で取り組みやすいのが特徴です。

初年りの本年は、房や粒の大きさにバラツキがあったものの、糖度18度を超えるなど良食味に仕上がったため、パッケージを新調し、良房を市内で販売した結果、評判も上々で完売しました。

今年の実績で、無核処理や房作り等の一連の栽培技術を経験したことや複数の青果会社から出荷要請を受けたことから、生産意欲は高まっており、高品質生産に向けて来年の実績にはずみがつきました。



青果業者とシャインマスカットの収穫時期を検討

酪農家との農福連携進行中！！

障がい者の就労促進と農業者の労働力確保のため、平成26年度から農業者と福祉事業所を対象とした就労モデル実証を行うなど、「農業」と「福祉」の連携に取り組んでいます。昨年度、管内の酪農家から雇用について相談があり、就労支援に取り組みました。



飼養管理の支援

具体的には、福祉事業所職員等を対象とした農場見学会を実施したほか、ハローワーク等と雇用条件を整理すると共に労働事故等を防ぐため、労働環境をお互いに確認しながら作業手順書の作成を支援しました。

これらの取組により、4月から、新たな雇用が生まれました。

現在、より働きやすい環境づくりに向けて、作業内容、飼養管理、搾乳の技術支援を行うなど、働き手の意欲の向上に努めています。

今後、お互いのコミュニケーションをとりながら、作業手順の見直しを行うなど、支援を継続していきます。

V i C・ウーマンの体験交流！！

管内V i C・ウーマンで組織するV i C & Dレディの会は、地域農業の事例を学びながら会員の交流を図ることをねらいに、7月28日に「体験交流会」を開催しました。

最初に、ブラックベリー栽培面積日本一を誇る「三内縄文ベリーランド」を訪れました。代表の樋口和美氏から「摘み取りしやすいように独自に栽培法を確立している」などといった取組の特徴について説明を受けた後、ブラックベリー（酸味の強いものと甘いもの）、ラズベリーなどを摘み取りし、それぞれの味を確認しました。

その後、会場を農協に移し、会員の倉内操さんを講師に「コケ玉づくり」に挑戦しました。団子状に丸めた土にアイビーなどを埋め込んでからコケで包み、最後にカエルや小鳥などの小物を飾り、遊び心いっぱい仕上げました。

コロナ禍ゆえに、会員との交流体験を楽しみ、英気を養った一日になったようです。



コケ玉を持って、はいチーズ！

青森県立保健大学祭で、農産物や加工品を即売し、消費者と交流！



色とりどりの野菜や果物、加工品を販売

10月10～11日に青森県立青森保健大学祭において、東青4Hクラブと元気なかつちやの味自慢・うで自慢実行委員会が、新鮮な野菜や果物、地場産品を活用した加工品を即売しました。

天候が悪かったことや新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年と比べ人出は少なかったものの、試食を提供したり、美味しい食べ方を紹介しながら、学生や地域の方との交流を図りました。

「^{アグリ}農知る知る交流会」を開催

若者などに地域の農業・農村の魅力を知らせてもらう取組の一環として、9月29日に青森市で、若手農業者と農業に興味を持つ独身女性を対象に交流会を開催しました。

当日は施設野菜の見学やりんご狩りを予定していましたが、残念ながら女性の参加が無く、コミュニケーション講座のみの実施となりました。



コミュニケーション講座

講座では、個性心理学®認定講師の柴田賢治先生から、お互いの個性の違いを認めるコミュニケーション術についての講演があり、参加者からは家庭や仕事でも取り入れたいと大変好評でした。

他の取組として、東青地域連携部と連携して東青の魅力をPRするための動画をインターネット等で配信しており、今年度は3名の若手農業者に協力いただき、動画を制作中です。

「いつまでも住み続けたい」東青地域づくりPR動画サイトはこちら！

<http://tosei-suki.pref.aomori.lg.jp/>



高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病に万全を期して

当県民局では、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病発生防止のため、家畜飼養農場等に対して重点指導をしています。

また、これらの疾病が発生した場合に、迅速で的確に対応し、早期に清浄化することを目的に、10月20日、青森家畜保健衛生所で東青地域県民局の職員を対象に、防疫実動演習を行いました。

今回は、豚熱が発生したことを想定し、防疫拠点である集合施設、現場事務所及び消毒ポイントの設営・運営や防疫拠点で行う連絡調整について県民局職員が作業を行いました。

具体的には、発生農場で防疫作業に従事する県職員（以下、「動員者」）が利用する集合施設の運営や動員者への防護服着衣補助、発生農場に設ける現場事務所の設営や動員者の受入れの手順を確認するとともに、消毒ポイントで使用する動力噴霧機の組立と車両消毒作業について確認しました。

今後も演習等により、防疫拠点の体制強化と関係者の対応能力向上を図り、特定家畜伝染病発生の防疫体制を強化し、特定家畜伝染病の発生に備えていくこととしています。



消毒作業

にぎわう秋まつり

10月24日に、あおもり海道そばブランド推進協議会は、JA青森の羽白野菜集出荷施設において「あおもり海道そば秋まつり」を開催しました。

当日は、あおもり海道そばや農産物加工品のプレゼントがあり、「元気なかつちゃの味自慢・うで自慢実行委員会」をはじめ多くの出店がありました。来場者は旬の野菜や地元の加工品、そばスイーツなどを買い求めるなど楽しんでいました。



会場風景

稲わらを有効利用しましょう

東青地域の稲わら焼却面積は、ピーク時の昭和47年頃には2,780haと水稲作付面積の41%を占め、「わら焼き公害」と呼ばれていました。

このため毎年秋には、県、市町村、農協などの関係機関が一体となって、稲わら焼却防止パレード等を管内全域で行い、稲わらによる土づくりや家畜の飼料への有効利用の促進など、生産者への巡回指導や啓発活動による「わら焼き防止」に取り組んできました。

その結果、近年は稲わらの堆肥化やすき込みが進み、平成30年度の焼却面積は18haまで減ったことから、昨年度からは、焼却している地域を重点的にパトロールする活動に切り替え、焼却面積は9haと「わら焼きゼロ宣言」まであと一歩のところに来ました。

本年度は9月24日に、JA青森浪岡カントリーエレベーターでパトロール出発式を行い、刈取作業中の生産者に焼却防止に向けた協力の呼びかけとチラシの配布を行いました。



生産者への呼びかけ

目指せ！！新規就農者の営農技術向上と定着促進

新規就農者の栽培技術や経営管理能力の向上を支援するため、個別巡回指導に加え、集合講座を開催しています。

夏期講座では、経営管理の基礎となる複式簿記記帳について学んだほか、先進事例を視察し、先輩農家の農業に対する考え方を学ぶとともに、新規就農者同士の連帯感の醸成も促しました。

冬期講座では、土づくりや農薬などの基礎講座に加え、流通に関する研修やパソコンを使った簿記記帳講座を計画しています。

11月16日には、青森市中央卸売市場を見学し、(株)青森合同青果の篠崎社長から市場流通の仕組みや消費者ニーズなどについて説明を受け、参加者たちは経営に役立てようと熱心にメモをとっていました。

12月以降の予定は下表のとおりです。受講を希望する方は経営・担い手班（電話：017-734-9990）へ



卸売市場の見学

内容	日時	場所
土づくり・農薬 基礎講座	令和2年12月11日(金) 13:00~15:30	東青地域県民局大会議室 (青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル5階)
パソコンを使った 複式簿記基礎講座	令和3年1月14日(木) 1月15日(金) 10:00~16:00	青森市浪岡中央公民館 3階 会議室4・5 (青森市浪岡大字浪岡字稲村101-1)
複式簿記個別相談会 (浪岡会場)	令和3年1月28日(木) 2月18日(木) 10:00~16:00	
複式簿記個別相談会 (青森会場)	令和3年1月29日(金) 2月19日(金) 10:00~16:00	東青地域県民局大会議室 (青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル5階)

新型コロナウイルスに関する農林水産省の情報はこちら

